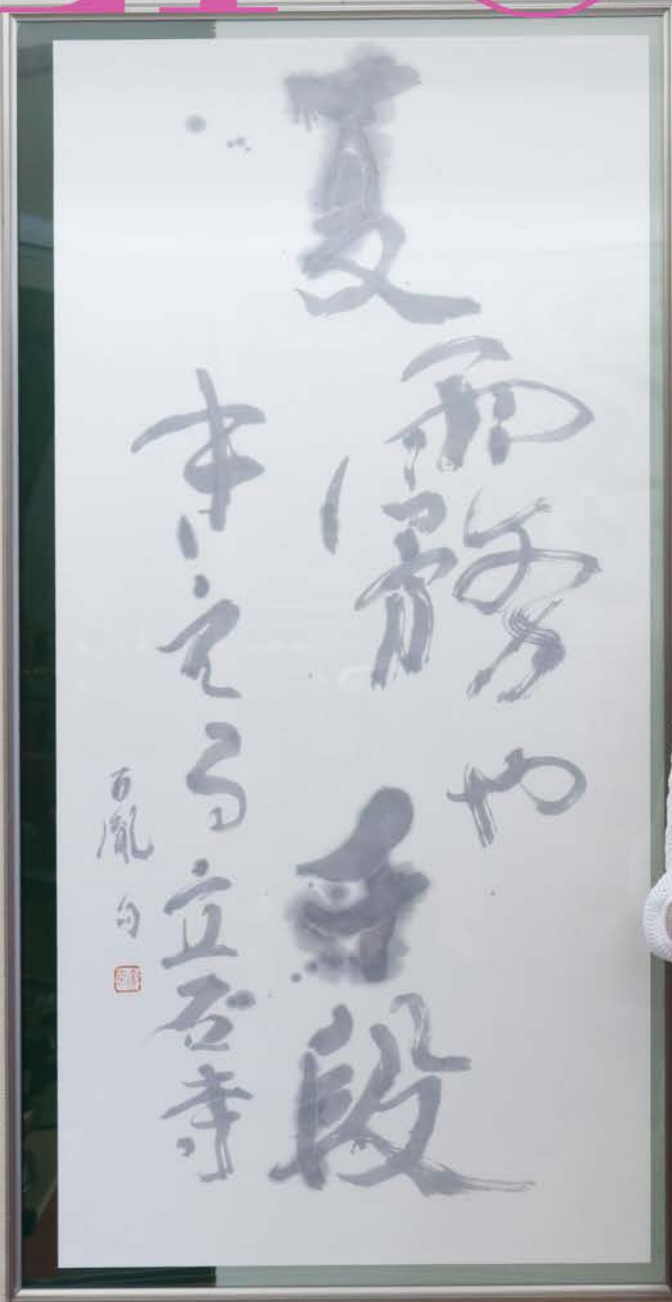




REPORT

March 2026

よいことのために
手を取りあおう



第 62 回全国俳句山寺大会に於いて、200 句中思いがけず、特選を受賞致しました。
「夏霧や千段きえる立石寺」自作の句を揮毫いたしました



第2710回
新会員卓話 藤原 薫 会員

第2711回
**山形市内 7RC
親善ボウリング大会**

第2712回
クラブフォーラム

出逢いは宝 未来につなごう
2025~2026年度 山形北ロータリークラブ会長 **野村百合子**
Yuriko Nomura

58th
SINCE 1968
YAMAGATA NORTH RC

2800 地区のテーマ | 良い事をしよう。地域で、世界で、未来のために
山形北ロータリークラブのテーマ | 出逢いは宝、未来につなごう

会長 / 野村百合子 | 幹事 / 岡 誠司 | 事務所 / 山形市香澄町 2-9-21 (株)メコム内 電話 090-1445-4120 FAX 642-1618

第2710回 2026年(令和8年)3月5日(木) 12:30 PM 場所: ホテルメトロポリタン山形

新会員卓話 藤原 薫会員



1998年から会員だった藤原さん、一度退会されましたが、この度再入会ということで卓話を行っていただきました。

藤原さんは福島県いわき市生まれ、東北大学建築学科卒業され、(株)フジタに入社 本社設計部に在籍されたそうです。

1997年4月(株)鈴木建築設計事務所に入社され、現在代表取締役社長を務められています。

鈴木建築設計事務所は老人福祉施設と障がい者施設、幼稚園 保育園 学校等に特化した設計を得意としており、木造建築技術+新しい材料CLT(ヨーロッパで発展)という環境にも考慮した建物づくりに力を入れているそうです。CLTは、省エネ・環境配慮・施工効率、すべてを両立できる存在だということです。

実例紹介では皆さんご存じの物件を多く手がけられていることが紹介され、大活躍されている様子を知ることが出来ました。

ロータリー活動としては、ボルダーバレーロータリークラブとの姉妹クラブ締結式に参加され現在に繋がるパートナーシップに尽力されたということです。



野村会長挨拶

本日は渋沢栄一についてお話しさせていただきます。幼少期、叱られる際には常に論語を用いられたといわれ、その教えが後の礎となったのではないのでしょうか。彼は「一滴のしずくも集まれば大河となり、新しい時代を切り開く」と語り、その生涯自体がその言葉を体現しておりました。創業・経営に関わった企業は五百社以上に及び、日本の近代化に大きく貢献しました。また、道徳と経済の両立を説いた『論語と算盤』の理念は高く評価され、新一万円札の肖像にも選ばれております。今なお多くの人に読み継がれ、経営や人材育成の指針として広く活用されております。



キョエイさん感謝の言葉

ロータリー米山奨学生として過ごしたこの一年は、留学生活の中でも特に心に残る時間となりました。多くのの方々との出会いに恵まれ、学問だけでなく、人としての在り方や社会との向き合い方についても多くの学びを得ることができました。日本で誠実で温かく社会に貢献されている皆様と直接交流できたことは、大きな幸運であり、今も胸が熱くなります。

特にカウンセラーの方には、細やかなご配慮と励ましをいただき、生活や進路の面でも支えていただきました。二月の歓送会では、先生にとって私が初めての奨学生であったと伺い、このご縁の尊さと責任を改めて

感じ、深い感謝の思いが込み上げました。

また、ボウリング大会やバーベキュー、地区大会、クリスマス会など、多くの活動に参加させていただきました。どの時間も温かく、自然体で過ごせたことが印象に残っています。これらの出会いがなければ、留学生活はより静かなものになっていたかもしれません。

まもなく帰国を迎えますが、ここでの経験は人生の大切な宝物です。この一年の学びを胸に、今後は周囲を支えられる存在となり、日中両国の架け橋となれるよう努めてまいります。心より感謝申し上げます。



第2711回 2026年(令和8年)3月14日(土) 14:00 PM 登録開始 場所:山形ファミリーボウル 山形市内7RC 親善ボウリング大会



2026年3月14日(土)山形ファミリーボウルを会場に、第二回目となる山形市内7RC親善ボウリング大会が開催されました。

野村会長の始球式の後、それぞれが6チームに分かれ、2ゲームのトータルスコアで競技が行われました。全27名の参加者中、山形北ロータリークラブからは15名参加となりました。ゲームの後は山形ファミリーボウルのパーティールームで表彰式、懇親会が行われました。結果はベスト3を山形北ロータリークラブメンバーが独占!という結果に終わりました。誰でも参加でき、和気藹々とした雰囲気の中、他クラブとの交流が出来るボウリング大会。今後も続けていきたいですね。



優勝は佐藤幸助会員、トータルスコアは327!、おめでとうございます。



準優勝は本多信昭会員、トータルスコアは318!



第3位は木村裕介会員、トータルスコアは317!

第2712回 2026年(令和8年)3月26日(木) 18:00 PM 場所: ホテルメトロポリタン山形 クラブフォーラム「創立記念例会」

3月26日、山形北ロータリークラブ創立記念例会において、伊藤三之助パストガバナーより「ロータリーとは」と題した卓話をいただきました。

また、去る3月21日に開催された職業奉仕セミナーにおいても、「それぞれの職業奉仕物語」をテーマにご講演をいただいております。本稿では当日参加できなかった会員の皆様にも内容を共有するため、その要旨として「ロータリーとは」についてまとめたいと思います。ロータリーの基本理念は「奉仕(SERVICE)」であり、「世のため、人のため」に行動することにあります。1920年に東京ロータリークラブが創設されて以来、ロータリーは世界で約120万人、日本でも約8万4千人の会員を擁する国際的組織へと発展してきました。日頃、「ロータリーとはどのような団体なのか」と問われる機会も少なくありませんが、その答えの一端が今回の卓話の中に示されているように感じます。

ロータリーの本質は、「職業人の集まり」である点にあります。会員はそれぞれの職業を通じて社会に貢献することを使命とし、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕の五大奉仕を柱として活動しています。

中でも職業奉仕は、自らの職業を通じて奉仕の理念を実践するものであり、職業倫理の向上や最高のサービスの提供を目指す重要な考えです。日々の仕事そのものが社会への貢献であり、その積み重ねがロータリーの価値を形づくっています。

また、伊藤三之助パストガバナーは、ロータリアンは「与える文化の実践者」であると強調されました。

「大いに稼ぎ、大いに蓄え、しかし大いに与えなさい」という言葉に象徴されるように、自ら得たものを社会に還元する精神こそがロータ



リーの根幹です。

この思想は、単なる寄付や奉仕活動にとどまるものではなく、職業人としての責任と誇りを持ち、社会のために何ができるかを常に問い続ける生き方そのものと言えるでしょう。

今回の卓話は、参加された方のみならず、私たちすべての会員にとって、あらためて「ロータリーとは何か」を考える機会となる内容でした。ロータリーとは単なる団体ではなく、「職業を通じて社会に貢献し、与える文化を実践する人々の集まり」であるという認識を、今一度共有したいと思います。

本稿が、当日参加できなかった会員の皆様にとっても、その一端を感じていただける機会となれば幸いです。



野村会長挨拶

皆様、おばんでございます。本日は創立記念例会でございます。

山形北ロータリークラブは、1968年3月28日、30名のチャーターメンバーのご尽力により誕生し、山形西ロータリークラブのご支援のもと、同年6月に国際ロータリーの正式加盟を果たしました。以来、先輩方が築かれた伝統と格式は脈々と受け継がれ、現在は会員数100名を超えるまでに発展しております。心より敬意と感謝を申し上げます。60周年に向け、地域社会にどのような価値を残せるか、会員一丸となり楽しみながら構想してまいりたいと存じます。

先日の職業奉仕セミナーでは「善行は巡り巡って自らに返る」との言葉が心に残りました。震災を通じ、支える側もまた支えられる存在であると気づかされ、奉仕の本質を改めて考えさせられました。又、かつて印象的だった言葉として、昨年の地区大会におけるRI会長代理・延原健二氏の「人に施す喜び、そして人が喜ぶことに自らの喜びを見いだせるロータリアンになってほしい」という言葉を胸に、これからも歩みを進めてまいります。



山形北ロータリークラブ ロータリー財団寄付表彰
(寄付平均額第5位)



小野和行会員 米山功労者第7回マルチブル



石井堯生会員 30年皆出席表彰



須藤雅人会員 10年皆出席表彰

点鐘/18:00 ロータリーレート/1ドル=156円 会長挨拶/野村百合子 本日出席/58名(会員総数99名)

クラブ会報アーカイブ
各例会のニコニコBOXは
こちらのQRコードからご覧下さい

■クラブ会報アーカイブ



■ニコニコBOX

